

2021年がスタートして、早くも1か月半が過ぎようとしています。立春を経て、寒さがだんだん和らいできたように感じられます。本校の子どもたちは、コロナ禍の中においても、毎日元気に生活し、様々な行事や体験活動に一生懸命取り組んでいます。その主なものを紹介します。

= 1月後半の行事 =

【国際交流】1月18日(月)

守谷市の姉妹都市であるドイツのマインブルク市と本校の5年生が、グリーティングカードの交換を行いました。5年生全員が、一人一枚、日本の行事や季節の様子を紹介するカードを作成し、その中で日本のよさを改めて感じていました。

ドイツからのカードは、18日に、守谷市役所市民協働推進課の国際交流員の方が届けてくださいました。また、スライドを使ってマインブルク市の様子を分かりやすく説明してくださり、簡単なドイツ語も教えていただく等、子どもたちは、新たな気付きや発見に目を輝かせていました。



【ワールドキャラバン】1月22日(金)

茨城県国際交流協会から紹介していただいた、ウクライナ出身の茨城県留学生親善大使の方が、自国の文化や食事、学校の様子等についてお話してくださいました。

本来であれば講師の方を学校に招待して国際交流を図る予定でしたが、リモートでの開催となり、子どもたちは、各学級で大型テレビを通して触れ合いました。クイズや各学年からの質問もあり、充実していました。



【新入児保護者説明会】1月29日(金)

本年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、人数を分散し、前半・後半の2回に分けて実施いたしました。

今回は、入学に向けての資料の配付や事務手続き、学用品の受け渡しを中心とした内容で行いました。安全・安心を第一に考え、体育館を広く使い、事務手続き等のスペースを十分に確保しました。

全体に向けての細かい説明の場を設けることができずでしたので、配付させていただいた資料だけでは伝わりにくい部分もあると考え、ネット上に、新入児の保護者を対象とした動画をアップしました。



= 2月前半の行事 =

【節分朝会】2月2日(火)

朝、計画集会委員会のみなさんが、各学級に行き、節分朝会を行いました。計画集会委員は、事前にしっかりと準備を行い、節分についての説明や今年はなぜ2月2日なのか等、担当する学級のみなさんがよく分かるように、工夫して話をしていました。

説明の後は、「おやつ食べすぎ鬼」「わすれものをしちゃう鬼」等、自分の退治したい鬼を書きました。



【縄跳びチャレンジ】2月3日(水)~

寒さに負けない体力づくりのために、休み時間や体育の時間に縄跳びの練習に取り組みました。その成果を披露する場として、今年度は、学年ごとに、体育の授業内の1時間で「縄跳びチャレンジ」を実施しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は保護者の方々の参観を見送らせていただきましたが、子どもたちは、自分の目標に向けて精一杯取り組みました。



【音楽鑑賞会】2月4日(木)

文化庁主催の「文化芸術による子供育成総合事業 ~芸術家の派遣事業~」が行われました。本校では「音楽鑑賞会」とし、チョコレートニ(ヴァイオリン、二胡、キーボード、マリンバ&パーカッションの4人の演奏グループ)のみなさんをご招待しました。

子どもたちは、各教室で体育館からリモート中継される演奏や楽器の紹介、クイズ等を楽しみました。



【避難訓練(不審者)】2月5日(金)

取手警察署生活安全課、並びにスクールサポーターの方々を講師としてお招きし、全校一斉に、不審者対応の避難訓練を実施しました。

校舎内に不審者が侵入したという想定で、各教室の子どもたちは、教室出入り口のドアに鍵をかけ、机でバリケードをつくる訓練を行いました。

訓練後、生活安全課・スクールサポーターの方から講話をいただき、体育館から各教室にリモート中継しました。不審者から自分の命を守るために「イカのおすし(行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる)」という、大切なキーワードを学びました。

